

The39th

Passenger Cars &amp; Motorcycles

## TOKYO MOTOR SHOW 2005



News

vol.

7

平成17年10月26日

第39回東京モーターショー2005

Passenger Cars & Motorcycles  
乗用車・二輪車

"Driving Tomorrow!" from Tokyo みんながココロに描いてる、くるまのすべてに新提案。

## クルマのすべてに「feel FINE!」



HONDA



展示ブース奥、広いセンターステージの上方を色彩っていた6面スライド式の映像スクリーンが真ん中に集まってくると「feel FINE!」。出展テーマが大きく映し出され、ホンダコンセプトカーのプレゼンテーションの始まりだ。

ステージ前を5重、6重に取り巻く大方は若者たち。華やかな光の演出に、興奮のボルテージが上がる。

まずスポットライトに浮き出た1台目は、次世代スポーツモデル「SPORTS 4 CONCEPT」。

ドライバーの操作に忠実な旋回性能や、高い走行安定性を発揮するSH-AWD（四輪駆動力自在制御システム）を搭載しており、各種メーター・スイッチ類の瞬間認知、直感操作の感覚を求めたコックピットなどの組み合わせで、運転技術に左右されることなく誰もが自在に操る楽しさを味わえる。4席が独立したパケットシートの上は、それぞれ独立してシェードを電動開閉できるスカイルーフ。高い運動性能と快適な居住空間のベストバランスを考えたミドルクラスのボディサイズを採用し、乗員4人の全員がスポーツドライブの喜びに浸れるという。

2台目は“愛犬と共に”の楽しさを求めて開発したというコンパクトワゴン「W・O・W CONCEPT」。愛犬とのカーライ

フを応援するホンダらしい着想のクルマだ。

助手席前のリッドを開けると、小型犬を収容できるインパネクレートが出現。また6人乗りが可能となる床下収納のエクストラシートを出すと、中型犬も乗せられるセンタークレートにもなる。低床フラットフロアでセンターウォークスルー。ドアはサイドが前後別々に開閉する電動スイングスライド式。リアは7対3の観音開きとなっている。お年寄りから子供まで「家族そろって愛犬と一緒にのモビリティ」が楽しめそうだ。

3台目は、次世代の燃料電池技術によって低重心・フルキャビンの流麗なフォルムを実現し、先進知能技術を採用した新次元のプレミアムセダン「FCX CONCEPT」。燃料電池スタックを、水素と酸素を上から下へ流す方式とし、燃料電池をセンタートンネルにタテ置きにすることで、これまでの燃料電池車にない低床式プラットフォーム化に成功、さらにフロント駆動モーターをギアボックスと同軸とさせて思い切りショートノーズ化を図っている。



ホンダの魅力 インディカー（手前）とF1モデル



# シビック ハイブリッドを巧みに演出

———メインステージに登場したコンセプトモデル———



「SPORTS 4 CONCEPT」



「FCX CONCEPT」

広々とした室内空間の出現は、燃料電池車に思い描いてきた新エネルギー対策、地球環境対応のイメージを超え、ホンダが追求する「移動する喜び」の大きな可能性をガソリン車以上に感じさせる。

ワールドプレミアのこの3台は、いずれもが未来へ向けたホンダ独創の先進技術、デザイン特性を主張しているが、共通しているのは「人が乗って、走って喜び、元気になる」という開発理念を具現化していること。それが「ファイン」であり、ホンダロマンの新しい息吹きを感じさせて印象的だ。

また、センターステージの左側には市場投入が目前の「新型シビック ハイブリッド」(11月22日発売予定)の全容を紹介するコーナーが橋掛かりの劇場スタイルで設備されている。入場整理券を係員からもらって入ると、ホンダロボット



「W・O・W CONCEPT」

「ASIMO」と女性担当員がコンビを組んで進行役を務め、「シビック ハイブリッド」の高知能パワーユニットや環境性能、ユーティリティ性の高さなどをアピールする舞台が実車と背面スクリーンを使ってムーディに繰り広げられる。親子連れや若いカップルに人気のマト。ワンステージが終わっての帰路には同車のスポーツモデル(参考出品)も展示されている。

ブース左手前は最上級セダン「レジェンド」の実車展示と映像による先進技術ゾーン。SH-AWDをはじめ、「インテリジェント・ナイトビジョンシステム」、「追突軽減ブレーキ」など先進安全技術のすべでも紹介している。

反対側のブース右手にあるホンダ得意のモータースポーツゾーンは、さすがに人だかりが絶えない。

昨年、今年と連続して「マニファクチャラーズ」、「ドライバーズ」、「ルーキー・オブ・ザ・イヤー」の3冠を総なめにしたインディカー、今シリーズも善戦したF1マシンが並ぶこのコーナー前では、来場者の足が止まる。裏側の展示台には、さらに性能を進化させた市販予定車「S2000」も。

ブース中央は「ステップワゴン サイドリフトアップシート車」や「フィット フランツシステム装着車」、手動運転補助装置「テックマチックシステム」を装着した「ステップワゴン」が置かれた福祉車両ゾーン。

その他の既販車展示も合わせ、ホンダブースの雰囲気は、やはり若々しさと明るさに溢れている。

## ブリーフィング コラム



運転や移動の喜び「ファイン」を、  
新しいデザイン価値に

本田技研工業  
福井 威夫 社長

ホンダが発信するキーワードは「ファイン」。お客様にホンダのクルマを通じて喜びの時間「ファイン・タイム」を感じて頂き、その喜びを生み出す「ファイン・テクノロジー」をテーマとしました。

「ファイン・テクノロジー」進化の鍵はパワートレイン技術の革新であり、また今回出展した3つのコンセプトモデル車が示すように、人を中心として考え、時代に先駆けるエモーショナルデザインを今後の方向性とし、運転や移動の喜びを表現する新しいデザインの価値として育てて行きたい。



市販目の「シビック ハイブリッド」



「レジェンド」でホンダ先進技術のすべてを紹介



## フォルクスワーゲン 主役は2台のワールドプレミアモデル、充実した展示と華やかな演出が魅力



エコとプレジャーを両立させた「EcoRacer」



広々としたイメージのフォルクスワーゲンブース



「Polo GTI」



「ゴルフR32」



洋楽ユニットのライブも

中央ホールにあるフォルクスワーゲンブース。出展テーマは「Your Life-Our Drive」。平置きを中心とした広がり感豊かなイメージが特徴だ。

ワールドプレミアは2台。鮮やかな黄色のコンセプトカー「EcoRacer」は、1.5リットル直噴ディーゼルを850kgの軽量な車体にミッドシップ搭載。超低燃費とスポーツカー並みの動力性能を兼ね備えている。「Polo GTI」はコンパクトなボディに強力な1.8リットルターボを搭載したスポーティモデルだ。

ジャパンプレミアは上級セダン／ワゴン「パサート」、ミドルクラスセダン「ジェッタ」、ハイパワーV6を積む「ゴルフR32」など。ブース内でユーロポップスのユニットがパフォーマンスを披露するなど、にぎわいを見せている。

## アウディ 新発想モデル、ハイパワーセダンなど、プレミアム性あふれるモデルが目白押し



アウディブースでは、2台のワールドプレミアが披露されている。「Shooting Brake Concept」は、クーペとワゴンを融合させた新発想のパーソナルカーだ。磁性粉体を使ったアクティブサス「マグネティック・ライド」をはじめ、先端技術が多数投入されている。

「S8」は同社のプレステージサルーン「A8」をベースに、5.2リットルFSI（直噴）V10、450psというきわめて強力なエンジン、電子制御4WDなどを採用し、セダンとしては世界トップレベルの動力性能を実現。

ジャパンプレミアはクロスオーバーSUV「Q7」、スポーツセダン「RS4」、4座オープンの「A4 カブリオレ」の3台。ほか、人気の市販車も展示されるなど、見どころいっぱい。



「Shooting Brake Concept」



V10を搭載する「S8」

## ランボルギーニ

オープン化されたガヤルドに熱い視線



ハイテクを駆使したオープントップが特徴のV10エンジンモデル「ガヤルド・スパイダー」が日本初上陸。V12搭載の「ムルシエラゴ」も展示され、スーパーカーメーカーらしさ十分。ブース周辺はいつもカメラを持ったエキゾチックカーファンでいっぱい。

## ブガッティ

1,001ps、400km/hオーバーの怪物出現



ブガッティブースに展示されているのはワールドプレミアで世界限定300台の「ヴェイロン 16.4」1台のみだが、その存在感は十分すぎるほど。W型16気筒8リットルターボは1,001psを発生し、最高速度は406km/h。なめらかな空力ボディのデザインやボディ表面の仕上げも見事の一言。

## ベントレー

絢爛豪華な4座オープンがデビュー



ジャパンプレミアモデルは気品を感じさせるクリームホワイトのスーパーロードスター、ベントレー「アズール」。レザー、ウッドなど、本物素材のみを厳選して使用したインテリアが美しい。高速ツアラー「コンチネンタル フライングスパー」も展示されている。



# 古今東西の四輪、二輪でサーキットをバーチャル走行



バイクのライディングシュミレーター「ツーリストロフィー」も登場



「グランツーリスモ4」

F1などのレーシングカーや市販車、さらには往年の名車など、さまざまなクルマのサーキット走行をバーチャルで体験できる「グランツーリスモ4」試乗体験アリーナが、2F中央モールの東ホール前に開設され、連日多くの入場者が訪れている。

「グランツーリスモ4」は、ソニー・コンピュータエンタテインメントがソニー「PlayStation2」向けにリリースしているレースゲームソフト。クルマの動きを物理的にシミュレートしており、実車の動きに近いリアルな運転感覚を味わうことができる。アリーナにはレカロ社製レース用シートを装備した12台のマシンが用意され、子供から大人まで、幅広い層の入場者がドライビングを楽しんでいる。

今回は「グランツーリスモ4」と並んで、今冬発売予定の新作ゲームソフト「ツーリストロフィー」も出品されている。こちらはバイクのライディングシュミレーターで、やはり古今のさまざまなマシンのライディングが可能。実際プレイしてみると、難易度はかなり高く、サーキットにおけるライン取りひとつでタイムに大差が出るなど、やればやるほど奥深さを感じる。一度体験してみる価値は大いにある。

## TOPICS

### 連日大賑わいのオフィシャルグッズ 50周年記念グッズも売れ行き好調



やすらぎのモールや西休憩ゾーンなど4カ所あるモーターショーのオフィシャルグッズショップが、来場記念のお土産にと、どこも大賑わいだ。くまのぬいぐるみやオリジナルチョコレート、ピンズ、バンダナなど18点のオフィシャルグッズに加え、今回はとくに数量限定の50周年記念グッズ6品目がレアもので見逃せない。zippoセットはすでに売り切れとなったが、皮製の携帯ストラップや絵葉書セットなどは値段もお手頃でオススメかも。

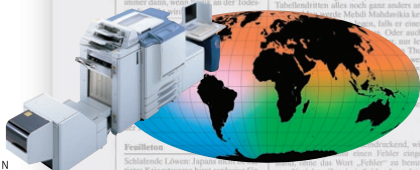
### 今日のイベント(予定) 2005年10月26日(水)

- \* トライアルデモンストレーション**  
11:30~12:00 } フェスティバルパーク  
13:55~14:25 } (西休憩ゾーン)
- \* 交通安全トークショー**  
12:35~13:05 } フェスティバルパーク  
14:55~15:25 } (西休憩ゾーン)
- \* bay fm生放送**  
13:15~13:45 } フェスティバルパーク  
(西休憩ゾーン)
- \* クリーンエネルギー車同乗試乗会**  
10:30~16:30 } 特設専用コース  
(幕張海浜公園内 メッセ周辺公道)
- \* 千葉県警音楽隊演奏**  
15:30~16:30 } フェスティバルパーク  
(西休憩ゾーン)

※天候等の都合により予定が変更になる場合がございます。



ON DEMAND PUBLISHER C-51N



### ご存知ですか?

コニカミノルタ オンデマンドプリントシステムは、

世界56ヶ国の主要新聞276紙をサポート。

### The essentials of imaging

Printed on Demand. The essentials of imaging. Konica Minolta's On Demand Publisher C-51N is a powerful tool for creating high-quality, on-demand printed materials. It supports a wide range of file formats and can produce up to 100 pages per hour. The system is easy to use and can be integrated into your existing workflow. For more information, visit our website at <http://www.ebook-print.com>.

このニュースは コニカミノルタ  
ON DEMAND PUBLISHER  
C-51N で出力しています。

コニカミノルタ ビジネスソリューションズ株式会社  
ODI事業部  
TEL 03-5205-7820  
Email [odi-info@bj.konicaminolta.jp](mailto:odi-info@bj.konicaminolta.jp)  
URL <http://www.ebook-print.com>



10月25日の入場者数 **55,400人**  
入場者数累計 **348,900人**

東京モーターショーニュースVol.7 2005年10月26日発行  
発行所 社団法人 日本自動車工業会 広報室  
〒105-0012 東京都港区芝大門1丁目1番30号 日本自動車会館  
TEL.03-5405-6119 FAX.03-5405-6136  
WEB SITE [www.tokyo-motorshow.com](http://www.tokyo-motorshow.com)

